

宮城県での派遣業務について

農林水産部 水産資源課

永田 健

1. 現在の状況

震災から1年以上が経過しているが、沿岸地域には震災の影響が残っている。



○震災により崩れた道路（巨理町）
H24年4月20日撮影



○満潮により冠水した漁港（塩釜市）
H24年10月15日撮影

4. 担当業務

震災復興のため、被災した漁業関連施設の修繕・新設に関する補助事業



○修繕されたカキ処理施設（塩釜市）
H23年度の冬から生産開始



○新たに整備中のノリ加工施設（七ヶ浜町）
今年度の秋から生産開始予定

5. 担当業務における課題

○資金不足

漁協等が、自己資金の確保に苦慮している。

○人員不足

漁協等が窓口となる事業が多く、事業を進める人員が不足している。

○漁港整備との調整

漁港施設の被災、周辺の地盤沈下により、漁港整備との調整が必要。

○多様な行政手続き

建築制限、農地転用、水利権、特別名勝（松島）等の
行政手続きに時間が必要。

6. 漁船事故対応

期 間：平成24年9月24日～30日（7日間）

活動内容：情報収集、乗組員家族のサポート



○記者会見の様子（塩釜市）



○救出者に乗せた光栄丸

- 関係市町や、水産分野に限らない幅広い分野との連携が重要。
- 現状を踏まえ、先を見据えた復興の計画が重要。
- 漁業の復興には、グループ化や協業化などの新たな経営形態の導入が重要。

